

# 行田市の丰

埼玉県行田市は、国宝「金錯銘鉄劍」  
が出土した稻荷山古墳をはじめ、日本  
最大級の円墳である丸墓山古墳など、  
9基の大型古墳が群集する「埼玉古墳  
群」を有し、埼玉県名発祥の地として  
知られています。

また、市内には永い眠りから目覚め  
開花した行田蓮(古代蓮)など42種類  
約12万株の蓮の花が咲く「古代蓮の  
里」、江戸時代の忍藩十万石の歴史を  
今に伝える「忍城址」、足袋の産地を物  
語る「足袋蔵」が点在する風情あるま  
ち並みなど、豊かな自然と歴史が息づ  
くまちです。



## ■交通アクセス

東北自動車道・関越自動車道・首都圏中央自動車道の各インターチェンジへのアクセスも可能です。

また、東京都心から電車で約70分圏内、さいたま市から約30分圏内にあり、通勤・通学やレジャーにも便利な立地です。

### 自動車

- 東北自動車道 羽生インターから 約14km、約30分  
加須インターから 約17km、約35分
- 関越自動車道 花園インターから 約22km、約40分  
東松山インターから 約22km、約40分
- 圏央道 桶川加納インターから 約20km、約40分

### 鉄道

- 高崎線上野東京ライン経由で 東京駅まで約70分
- 高崎線湘南新宿ライン経由で 渋谷駅まで約70分

## 友好都市

行田市は平成10年11月9日、福島県白河市、三重県桑名市と友好都市を締結しました。

3市は、文政6(1823)年、江戸幕府の命令による3藩間の大掛かりな国替えで、藩主が入れ替わった歴史的なつながりがあります。行田市を治めていた忍藩主の阿部正権が白河藩へ、白河藩主の松平定永が桑名藩へ、桑名藩主の松平忠堯が忍藩に移りました。



### 白河市

福島県の南部中央に位置する市です。西に高くそびえる那須連峰を望む、歴史と文化の息づくまちで、周辺部は緑の山々に囲まれ、豊かな自然に恵まれています。



### 六華苑



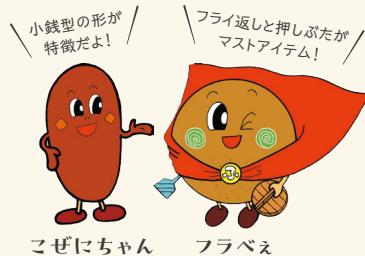
### 桑名市

三重県の北部に位置する市で、東海道の要衝として栄えた城下町です。城下町の名残は城跡だけではなく、まちのたたずまいや数多くの老舗などからも感じられます。

## 行田市キャラクター

### こぜにちゃん&フラベえ

行田のご当地グルメのゼリーフライとフライのイメージキャラクターです。こぜにちゃんは、「銭フライ」と呼ばれていたのがなまり、名前がつけられました。フラベえは、行田の方言「～べえ」という言葉から、愛称がつけられています(ご当地グルメは29ページ)。



こぜにちゃん フラベえ



### 行田豆吉

「行田在来青大豆」のイメージキャラクター。青大豆の特徴である青みがかった顔とおでこの莢がトレードマーク!